

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等		(砂)瀬早川	
事業毎の通番		2		市町村名		駒ヶ根市	
事業目的		瀬早川は、土石流危険渓流であり、想定氾濫区域には地域防災計画の避難所に指定されている細田南集会所、人家25戸、地区の幹線道路が存在する。現在、上流域には不安定な土砂が堆積しており、土石流の発生のおそれが高いため、砂防堰堤2基を設置する。		箇所名(ふりがな)		栗林(くりばやし)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法	
関連する事業、計画等		-		-		-	
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家25戸、細田南集会所、市道、その他道路		-		-	
着手年度		H29		事業期間		7年	
完成年度(見込み)		H35		費用対効果		4.1	
全体事業内容(主な工種)		砂防堰堤工 2基		事業費(千円)		500,000	
年度事業内容(主な工種)		測量・調査・設計		国庫		250,000	
				その他		225,000	
				県債		9,000	
				一般財源		1,000	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		人家25戸、細田南集会所、市道、その他道路の保全			
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		【保全人家戸数】 25戸 【保全公共施設】 細田南集会所、市道、その他道路 【要配慮者利用施設】 なし 【避難場所、避難路】 細田南集会所		評価		A	
重要性		【災害履歴】 なし 【交通影響】 市道 【位置づけ】 地域防災計画上の位置付けあり(避難所) 土石流危険渓流 I		評価		B	
効率性		【費用対効果】 4.1 【早期事業発現】 事業期間7年 【工法等比較検討】 砂防計画策定時に検討を実施 【流域の総合調整】 調整済み		評価		A	
緊急性		【地形地質】 風化変成岩 【流域植生】 一部放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配9° 整備率0% 【危険地区】 土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり		評価		A	
計画熟度		【情報共有】 関係者を中心に周知 【地域要望】 市から要望あり 【地域合意】 事業目的の合意が図られている 【住民参加】 避難訓練など今後検討する		評価		C	
部意見		当該渓流の保全対象には、人家25戸や細田南集会所(避難所)が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。		行政改革課意見		流域内には不安定土砂や倒木が多数存在し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあり、保全対象に人家、市道、避難所があることから、必要性、緊急性が認められる。	
				評価結果		○	
				総合評価		B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>位置図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>流域概要図</p> </div> </div>	
<p>事業概要説明図表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>全景</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>倒木状況</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>荒廃状況</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>下流側の状況</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>避難所(細田南集会所)</p> </div> </div>	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	瀬早川は、土石流危険渓流であるが、土砂流出を防止する施設がなく、土砂整備率が0%である。想定反乱区域に人家25戸、細田南集会所(避難施設)、市道340m等が存在しており、重大な災害につながる恐れが高いため、当該渓流を緊急に保全する必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H25年度から駒ヶ根市役所から強い要望あり
③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	土砂災害防止法に基づくソフト対策の取り組み
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画。
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防施設の整備により、地域住民の安全安心を確保するとともに災害のない地域づくりを目指し地域の活性化を図る。
⑦その他	砂防指定地に指定予定
事業代表地点の緯度経度	
北緯:N 35° 45' 16"	
東経:E 137° 59' 25"	